

第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/26】

この試合のプレー集計

準々決勝

岡山県選抜

5	0	－	2
	2	－	2
	2	－	0
	1	－	5

9 大阪選抜

審判：

PSO
森林 和三
縄井 裕平

岡山県選抜	21	SH数	18	大阪選抜
	6	速攻数	4	
	6	ST・SB	7	
	6	SH・P誘発アシスト	6	
	31%	GK阻止率	58%	
	3	EX反則数	4	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

前回大会久々の上位進出で第3位となった岡山。対する大阪は1回戦で自分たちの強みを発揮して快勝。泳ぎでは岡山が上だが、1回戦で見せた大阪のペースでどこまで対抗できるか。興味ある一戦となった。

【1P】

スローペースの水球となり、大阪側のオフェンス反則で6対5攻撃の岡山側がボールキープできず、大阪②仁木がスチール。そこから居残りの⑨三矢が決めて大阪が先制。その後も大阪ペースで退水攻撃を⑧高橋が決めて2点目。岡山は完全な大阪のスロー展開に歩調を合わせてしまい、無駄にボールを長く持つという悪循環。終始、大阪ペースで試合が進み、岡山0－2大阪で第1ピリオド終了。

【2P】

大阪の外周シュートを岡山GK①澤がセーブ。そこで退水を誘発して、④村上が決め、さらに大阪攻撃を摘み、またしても④村上が決めて岡山が同点に迫っていく。大阪は中心を担う②仁木がなかなか前線に進めないうちに同点とされたが、しかし④加納が左サイドからGKの顔脇コースを抜いて3点目を決めると、②仁木が前に。その②仁木が6mSHを決めて再び2点差にして第2ピリオド終了。前半は大阪ペースに変わりなく、岡山はもっと前へ泳ぐことでスローペースを打破してゲームの主導権を握れるかどうか後半のポイントになる。

【3P】

大阪側のオフェンス反則から岡山が数的有利に攻め、右サイドからパスを受けた④村上がループシュートを決めて1点差に迫る。大阪側がやや防戦に傾き、ここでも④村上が6mSH決めて同点に持ち込む。動きの少ない両チームだが、もう少し動いてボールを回すことも意識して試合を運べるかどうか。

【4P】

ゆったりペースの大阪だが、ゴールに向かって動いて退水を誘発して、そこを②仁木が決めて大阪リード。岡山はまだ動きがなく、無理なパスミスから大阪が攻撃して⑩北浦が決めて2点差に。余裕のなくなった岡山はシュートを早打ちして大阪にプレッシャーを掛けられない。たまたまベンチがタイムアウトを取ってから攻撃して、少し動いた④村上が決めて1点差に。残り時間は2分。ここを打開したのはまたしても②仁木。対する岡山も懸命に攻撃し、④村上がペナルティを誘発して自身がPシュートするが、惜しくもバー。その後のリバウンドからのシュートもGK⑬秋田が好セーブして、大阪はピンチを脱した。そこで左サイドから⑨三矢、②仁木がダメ押し点をマーク。岡山5－9大阪で、大阪が準決勝進出を決めた。

岡山は大阪のペースに合わせてしまい、パス出しが遅れ、しかも止まっている選手に出すことで大阪側にスチールされるなど、攻撃リズムの悪循環が敗因。大阪は中学生の②仁木がやはり攻撃の起点で、中盤以降にその威力を発揮できた展開に持ち込んだ勝利。準決勝ではこのスタイルがどこまで通用するか楽しみでもある。